

(興道東部保育園)

はらくっちーの 「みんなのもうひとつのおうち」



「はらくっちー」は「地域における公益的な取り組み」を目的に、興道東部保育園で月に1回のペースで行っている事業です。みんなで、制作遊びをしたり、園庭で遊んだり、一緒に給食を食べたりと毎月楽しい企画を考えています。また、保育士による育児相談なども行っています。今年度は3回開催し、たくさんの皆さんにご参加いただきました。今後は、子育て世代の方だけではなく、お年寄りの方にも参加していただいて、地域の皆さんが世代をこえて交流できる場になればいいなと考えています。楽しい遊びやおいしい給食を準備して待っていますので、どうぞおいでください！



興道東部保育園
米沢市下花沢3丁目10番9号
TEL 0238-23-6624

みんなの もうひとつの おうち

No.21
2020.3.1



英語であそぼう！

米沢市が主催している「出前講座国際交流プログラム」を活用して、月に1回のペースで「英語であそぼう」を行っています。国際交流員のタイラー・パートンさんと一緒に英語を使ってゲームやダンスを楽しんだり、一緒に給食を食べたりします。子どもたちはタイラーさんが大好きで、みんな親しげに話しかけています。遊んでいる中で自然に英語に触れる経験を通して、異文化に関心を持ったり、異文化を受け入れる素地ができればいいなと思っています。



本号は、保育園で行っている『リズム運動』を紹介しました。毎日続けることで子どもたちの心と体が育っていることを実感します。また、昨年に引き続き、保護者の皆様のご協力のもと園庭に新しいあそび場ができました。子どもたちはドキドキしながらも挑戦し、活き活きと楽しんでいます。いろいろなあそびを通して、たくましく育つ子どもたちをこれからも、支え見守っていききたいと思えます。本号の発行にあたり、ご協力いただきました皆様に心より感謝いたします。

園長 あいさし
「あなたが大切だ。もうひとつのお家で...」
園長として赴任した昨年の春、広い園舎と自然豊かな園庭、そして「園長先生に会いにきたよ！かっくんほしろう！」ほっく前進でこっすり会いに来るかわいい子どもたち。「できないことではなくできたことを褒めてあげよう。どんな時もあたたかく受け止めてあげよう。そして、みんなでこの(もうひとつのお家)で毎日待っていてあげよう！」と、職員で確認した四月。
人はぬくもりと安心の中で忘らなくなる「自己肯定感」が育ちます。「園長先生だっことして！」ふと、思い出します。高校生だった私は末期癌で入院中の母の体位変換のため抱きかかえた瞬間、あまりの軽さに突然涙が溢れ出しました。「やせ細ったこの母に、幼い私は数え切れないほど抱いてもらったんだな。」あと僅かで命を終える母に初めて心から感謝したのでした。
私の大切な言葉です。「命は大切だ、命は大切に、そんなこと何千回何万回言われるより(あなたが大切だ)誰かがそう言ってくれたら、それだけで生きていける公共広告機構「園長先生どっこ」私を探す子どもたちを岩の陰から遠く眺めながら「どんな時も全ての子どもが(あなたが大切だよ)と大人に優しく抱きしめられる社会・保育園を作りたい」と心に誓った暖かい春でした。
園長 藤戸 孝司



**たんぽぽ組
(3歳児)**

3歳児たんぽぽ組は友だちの動きを見ながら、一緒に体を動かすことを楽しんでいます。カメの動きは特に子どもたちが得意な動きなので、自分の番になるとみんな出ていきます。お腹を軸にして体を支えたり、弓のように沿ったりして、最後のブリッジでは、手と足で体を持ち上げられるようになった子も増えてきました。大きい子のカッコいい姿を見て、憧れの気持ちも芽生えてきました。



**すみれ組
(4歳児)**

年長児の姿を見て真似て「僕も私もやってみよう！」という憧れの気持ちが芽生えてきます。運動機能の高まりと共に、手と足の協応動作がスムーズになり、毎日行うことで柔軟性が育ち、思うように体が動かせるようになってきました。「もっとやりたい！」という声が聞かれるようになり、友だちや保育者と一緒に体を動かす気持ち良さを味わうことでリズム運動の楽しさを感じ園生活での意欲につながって来ました。



**ゆり組
(5歳児)**

5歳児になると、スピードと力強さが加わり、躍動感と力動感が出てきます。『とんぼ』や『めだか』はその最たるもの。風を切るような走りや軽やかな側転は小さい子の目を釘付けにします。足の親指をつけて回転したり、手の指先までびんと伸ばしたりと動きのポイントをしっかり理解して、体を巧みに使っています。スペースを見つけて動く、友だちと息を合わせて動く、といった考えながら動くリズムも5歳児ならではの、年下の子を応援する声と空まで届きそうな歌声が遊戯室をさわやかな空間にしてくれます。



**わくわくがいっぱい!
どうぶのおにわ**

ボルダリング

高さのあるボルダリングに、最初は怖がっていた子どもたちでしたが「一番上まで登ってみたい!」と何度か挑戦するうちに「こうなったからこう持てば落ちないんだ」とか「ここに足をかけると登りやすいな」などと、どうやったら安全でスムーズに登れるのかしっかり考えて登れるようになってきました。自分で登れるようになったことで自信がつき、どこに手をかけたり足を置いたら登りやすいのかを友だちに教える姿も見られるようになってきました。



リズム運動

こころもからだもぐんぐん育て!

リズム運動とは...

東部保育園では、埼玉県のみやま・さくらんぼ保育園のリズム運動にふさわしい、「リズム運動」を毎日の日課に取り入れています。「リズム運動」とは、バランス感覚や体幹を養ったり、脳の働きを活発にしたりする効果があります。ピアノの音に合わせて歌ったり、身体を動かしたり、乳児組から幼児組までみんなで楽しく取り組んでいます。

**こうめ組
(0歳児)**

ピアノの音が聞こえてくると、自然と身体が動き出すこうめ組のお友だち。幼児組のリズム運動を見たり、一緒に動いたり歌ったりすることで、自然とリズム運動が身近に感じられるようになってきました。



かめの動き
寝転んでお尻を上げたり下げたりする動きができるようになってきました。

おふねの動き
お友だちを誘って両手をつなぐことを喜んでいて、曲に合わせて引っ張り合うことを楽しんでいます。

**うめ組
(1歳児)**

子どもたちは、リズム運動が大好きです。ピアノの演奏が始まると「はじまったよ」「リズムうんどうしよう」と集まってきます。幼児組さんのリズム運動を見たり保育者と一緒にリズム運動をすることで、自然に体の動かし方を覚えていきます。手を上に伸ばしたり、走ったり、止まったり、体をそらしたりとさまざまな動きができるようになりました。リズム運動を継続することで、体が柔らかくなったり、リズムカルになったり、足、腰が丈夫になったりしていることが伺えます。うめ組では、保育者と一緒に楽しんでリズム運動しています。



**もも組
(2歳児)**

もも組の子どもたちはリズム運動の曲に合わせて這う、しゃがむ、走る、ジャンプなど様々な動きを楽しみながら行っています。幼児組と行う時は、見て学ぶこともたくさんあり、待つ時には姿勢を正すようになりました。また、リズムカルにスキップしたり、側転やブリッジをする姿を「すごい!」と憧れの眼差しで見、できないながらも真似ようとしています。



すべり台・砂場・三輪車小屋

グラウンドにあったすべり台をタイヤ階段の隣に移動しました。乳児組の小さなお友達も階段を登って何度もすべって楽しんでます。新しく三輪車小屋もでき、雨、風にあたることなく子どもたちも、片付けができるお家ができたことを喜んでます。砂場の囲いに高さを設けたことでじっくりとあそぶことができ、乗り越えたりする楽しみも増えました。



**「はなの会」(保護者会)おうちの方に
手伝っていただきました。
みなさんありがとうございました。**

昨年引き続き「はなの会」役員や保護者の皆さんにお手伝いをいただいて、ボルダリング、すべり台、三輪車小屋、砂場の整備を行いました。ボルダリング、砂場の囲いは、木を使用したもので、防腐剤塗りで始まり、塗っては乾かしの繰り返しでした。木や土を運んだり、すべり台移動設置など、お父さんたちの力をお借りすることで、素敵な園庭ができました。お忙しい中、子どもたちのために、汗を流して園庭整備のお手伝いをしていただき、本当にありがとうございました。

